



Amir Tsarfati 10人の娘のたとえ

- 花婿にお会いする準備を整える -

今日は、主が私の心に与えてくださった題材です。特にCOVIDの期間、多くの人が信仰を試され、たくさんの教会、たくさんの牧師、たくさんの教会員たち、世界中の多くのクリスチャンが、皆さんが見ているように条件を付けられています。世界中で、バベルの塔以来初めてです。バベルの塔以来、初めて地球全体が同一の規制、ルールの下におかれ、同じ音楽に合わせて踊っています…初めて。初めてです。これは、人類の歴史の中でも今までになかった時代です。

世界大戦中でも、日本や韓国で殺しが行なわれながら、アルゼンチンでは人々は踊っていました。第一次世界大戦や第二次世界大戦でも、何でも…地球の歴史上、ほとんどすべての主要な衝撃的な出来事は、世界のある地域が苦しんでいる一方で、他の地域では普通に生活が続いていました。それが、初めて、すべての国が一つの国際組織の音楽に合わせて踊っています。そして、キリスト教信仰が試されています。なぜですか？ なぜなら、教会はキリスト教信仰を実践する唯一の場所ですか？ 4面の壁と扉と屋根？ 人々は試されました。非常に興味深いです。世界の出来事は、あなたがイエスに従うかどうかを決断するまで待ってくれません。グローバリズムは今、最高潮に達しています。中東は、エゼキエル書38章と39章の大きな出来事に向けて、これほどまでに準備ができていたことはありませんでした。私はいつも言っていますが、私達の世界には二つの軌道があります。世界の出来事と、私達自身の主との歩み。私達の主との歩みが世界の出来事に影響を与えることは、決してありません。皆さんが今、立ち上がって抗議して、将来における反キリストの台頭を止めようとしても、いいですか？ 彼は台頭します。皆さんが今、エゼキエル書38章にある、連合国によるイスラエルへの侵攻を全身で止めようとしても、いいですか？ 彼らは侵攻します。皆さんが今、世界中で起こっているグローバリズムに抗議しても、いいですか？ 皆さんには、あと4年あるかもしれませんが、その後で、それは続くでしょう。皆さんの国を滅ぼし、全ての国々を滅ぼして、将来の世界の支配者にふさわしいものを再建しようとする動きが進んでいます。それは起こっています。皆さんは、それを変えることはできません。それは予告されています。しかし、皆さんは、あなたの人生における決断によって、これらの世界的な出来事が起こっている時に、あなたが居る場所を変えることができます。第二礼拝の終わりに、中東アップデートや世界で起こっていることを全てお話ししますが、一つだけ知っておいて欲しい事があります。何にも比べ物にならないほど最も重要なこと、皆さんが確実に救われることです。祈ってから御言葉に入りましょう。

お父様、あなたの御言葉に心から感謝します。お父様。あなたは、誰ひとりとして滅びる事なく、すべての人が、あなたの御子、イエスの救いにあずかることを願っておられます。あなたは、ある人達がおそいと思っているように、遅らせておられるのではありません。あなたが忍耐深くられる事に、感謝します。お父様、私達がまだ、この朝にも、御言葉を伝え、キリストによってのみ得られる、あなたの希望と愛と信仰を、伝えることができ、感謝します。お父様。今朝ここにいる方々と、世界中で見ている人々の心が、御心とあなたの目的に従って触れられ、変えられる事を願います。私達はあなたに感謝し、あなたを褒めたたえます。イエスの御名によって。アーメン。

今朝のメッセージのタイトルは、ご存知の『十人のおとめのたとえ』です。思い出して頂きたいのですが、これは「オリーブ山の説教」と呼ばれるものの一部です。今朝、私がこのメッセージをしたいと強く感

じたのは、ここ数週間で、新種のキリスト教にさらされたからです。私はその存在すら知りませんでした。それを”キリスト教”と呼べるのかも分かりませんが、確かにこの人達はイエス・キリストを信じていると公言しています。

私のもとには、ユダヤ人に対するナチスのプロパガンダをぶちまけている人々の映った動画が送られてきて、私はそれを見ました。彼らは、それをイエスの名において言ったのです。私は、憎しみに満ちた人々を見ました。なお、ユダヤ人に対してだけではありません。ちなみに、どんな集団でも、どんな民族でも、誰かを憎むことは、神の言葉に完全に矛盾することです。そして、私はそれらのことが、文脈を無視した聖句を用いて、イエスの御名において行われているのを見てきました。それを何十万人ものフォロワーを持つ人達が、ネット上で発言しているのです。そして、人々はそれを鵜呑みにして、恐ろしくその影響を受けています。実際、数週間前にあった共和党全国大会で、登壇予定者の一人が出場取り消しになりました。彼女は、反ユダヤ主義者のメッセージをリツイートしていたからです。識別力も聖書も、何もない。そこで、私は思いました。教会は神を知らない人達でいっぱいだ。彼らには、神の御心、神の意志、神のご計画、神の御言葉が全く分かっていない。

オリブ山の説教は、皆さんもご存知の通り、マタイ24章と25章です。これは聖書の中で、イエスがオリブ山の頂上で文字通り、弟子たちの質問に答えられた部分です。それらの質問は大体において、イスラエルの地に住んでいたユダヤ人からの質問でした。彼らはユダヤ教の祝日の間、エルサレムの町にいたのです。そして、これらは彼らを悩ませていた事からやテーマ、話題でした。神殿のこと、終わりの日のこと、メシアが戻ってくること、神の御国のこと、すべてのことについて。そして、イエスは、その二つの章において、彼らに二つの角度から全てを説明されました。まず、ユダヤ人としてのあなたがたに話し、イスラエルに何が起こるのかを教えよう。それから、信者としてのあなたがたに話し、この後、信者に何が起こるのかを告げよう。マタイ24章では、4節から31節までの最初の部分は、全てがイスラエルの将来についてです。聖書に書かれている事から、それが分かります。イエスはエルサレムのこと、ユダのこと、安息日のことを話しています。イエスが話しているのは、マイアミビーチやマイアミ・デイド郡の人達とは全く関係のないことばかりです。それらのことを見たら山に逃げなさい。もしもし？ ここで？ それらのことを見たら、逃げるのが安息日にならないように祈りなさい。もしもし？ 皆さんは、理解しなければなりません。イエスは、エルサレムで、ユダヤ人に対し、イスラエルの将来について話し、そしてイエスは間違いなく、イスラエルの終わりの時の出来事について話しているのです。勘違いしてはいけません。イエスはイスラエルがご自身を拒絶すること、そして、その後の2000年間、ローマ9章と10章が語っているように、彼らが自分たちの義を確立しようとしながら生きていくのをご存知です。イエスはエレミヤが20章で言ったこと、ダニエルが12章で言ったことを彼らが経験するのをご存知です。ヤコブの苦難です。彼らは苦難を経験します。彼らは、残念ながら間違った人をメシアに選びます。彼は、彼らに偽りの平和をもたらします。彼は、その平和を破り、神殿に入って、自分を神として礼拝するよう要求し、そして、彼らは逃げるのです。そしてイエスは彼らに告げます。それが起こったら、荷物を取りに家に帰ったりせず、ただ逃げなさい。しかし、32節から35節では、イエスは、もちろんイスラエルも含めた、世界中の終末的な出来事について語るのをやめ、そして、「いちじくの木から、たとえを学びなさい」と言われます。それは、イエスが二章前に話したのと同じいちじくの木です。同じいちじくの木で、それはイスラエルの宗教的精神であり、実際にイスラエルの国の象徴でもあります。それが終わりを迎え、そして、彼らが自分たちの土地に戻って来て、国を建て直すのに2000年かかる事、彼らが戻る事をご存知の上で、イエスはこう言われます。「そのいちじくの木は生き返ります。そして、そのいちじくの木が生き返るのを見る世代、その世代は、過ぎ去ることはない。」それから、もちろん、教会の携挙について語られ、そして、マタイ25章に移り、こう言われます。(マタイ25:1-13)

「そこで、天の御国は、たとえて言えば、それぞれがともしびを持って、花婿を出迎える十人の娘のようです。そのうち五人は愚かで、五人は賢かった。愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を用意しておかなかった。賢い娘たちは、自分のともしびといっしょに、入れ物に油を入れて持っていた。花婿が来るのが遅れたので、みな、うとうとして眠り始めた。ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ』と叫ぶ声がした。娘たちは、みな起きて、自分のともしびを整えた。ところが愚かな娘たちは、賢い娘たち

に言った。『油を少し私達に分けてください。私達のともしびは消えそうです。』しかし、賢い娘たちは答えて言った。『いいえ、あなたがたに分けてあげるにはとうてい足りません。それよりも店に行って、自分のお買いなさい。』そこで、買いに行くと、その間に花婿が来た。用意のできていた娘たちは、彼といっしょに婚礼の祝宴に行き、戸がしめられた。」
そして、興味深いことに、イエスが言われます。

「そのあとで、ほかの娘たちも来て、『ご主人さま、ご主人さま。あけてください』と叫んだ。しかし、彼は答えて、『確かなところ、私はあなたがたを知りません』と叫んだ。だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。」

うわあ... 私が初めてこの部分を読んだ時には、たくさんの疑問が頭の中を駆け巡っていました。「うわー、これは誰のことを言ってるんだろう？」と思ったのを覚えています。明らかに、一人の娘のことではない。明らかに10人です。明らかに、彼女たち全員は火を持っていて、そのともしびに光がありました。でも、油を持っている者もいれば、油を持っていない者もいた。愚かな娘たちと賢い娘たち。そして、私は考えました。「OK、何人かは準備ができていて、何人かは…あと数日か、数分だけ必要だったのかもしれない。」しかし、彼女たちが、彼に開けて下さいと願った時の彼の返事を読んで、私はショックを受けました。彼は言いました。「私はあなたがたを知りません。」うーん。私は思うのです。自分は主を知っているつもりでも、主のことを何も知らない人が、どれだけいるのだろうか。おもしろいです。明らかに、これは譬え話です。それは分かっています。天の御国は、「たとえて言えば」とありますから。本物の10人の娘の話ではありません。重要な出来事を象徴的に表現しているのです。非常に興味深い事に、天の御国は、「…のようです」「…のようになる」ではありません。「…のようです。」彼がそれについて話した2000年前にそうだったし、今もそうです。

「主は天にその王座を堅く立て、その王国はすべてを統べ治める。」詩篇103篇19節

ルカ17章20-21節。パリサイ人達に追い詰められて、イエスは何と言ったでしょう。「さて、神の国はいつ来るのか、とパリサイ人達に尋ねられたとき、…」イエス、神の御子、受肉された神が彼らの前に立っています。神は私達と共におられる。インマヌエル。おもしろくないですか？ あなたのお名前は？ マルコさん。想像できますか？ 誰かが来て言うのです。「マルコさん、マルコはいつ現れるの？」もしもし？ 私がマルコです。

「イエスは答えて言われた。『神の国は、人の目で認められるようにして来るものではありません。「そら、ここにある」とか、「あそこにある」とか言えるようなものではありません。』」

ほら、人々は何かを見たがるんです。彼らは、しるしを求め…いいえ、イエスは言われました。「神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。」いいですか、イエスはその公生涯で最初に言われた言葉は、「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」「悔い改めなさい。神の国は2000年後に来るのだから」とは、言いませんでした。ええ、確かに、その悔い改めのメッセージは効果的だったでしょう。皆さん、マタイ6:31-34で「そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。」当時の異邦人は、神とその御言葉を信じない者たちでした。彼らは神を知らない。彼らが求めているのは、ただ、(世の)心づかいだけ...ところで、イエスが何と言われるか見て下さい。「しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを、知っておられます。」イエスの言葉を見てください。本当にあなたが常に探し、求め、願う必要のあるもの、必ず持つべきもの...

「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。」

私達はまた、神の御国では、神が全てのものを支配しておられることを、覚えておかねばなりません。しかし、マタイ12章では26節で、サタンの国とは、神がサタンの支配を許しておられると書かれています。間違えないでください。神は、現時点では、サタンが一定の能力を持つことを許しておられるのです。「なぜ？」と聞いてもいいですよ。それは良い質問です。なぜでしょう？ なぜ？ そうですね、一つ、言わせてください。自由意志が、違いを生み出すのです。神は、ロボットを作ることもできました。神は私達を、何でも神の言う通りにしか動かない”プログラム人間”として作ることもできました。そうでしょう？ 出来ました。しかし、私は今、皆さんにお尋ねします。では、これらのものが神に「私達はあなたを愛しています」と言うとき、それは、本当に神が求めておられる愛でしょうか？ 皆さんの子供たちが化学的、科学的にプログラムされて、あなたにこう言うとき、「私はあなたを愛しています」「私はあなたを愛しています」「私はあなたを愛しています」皆さんは、それが本当の愛だと思いますか？ あるいは、すべての事情にかかわらず、あらゆる事態に関わらず、すべてを考慮した上で、（と言うのも、悪はありますから）あなたは私を愛しますか？ それが愛ですから！これが、皆さんが子供たちから望む愛です。これが、皆さんが配偶者から望む愛です。これが、神がご自分の子供たちから望まれる愛です。霊と、まことにおいて神を愛すること。神のものとなること。

神を選ぶこと。神を選ぶとは、どういう事でしょう？ この世界には、選択肢があります。申命記には、こう書かれています。

「見よ。私は、確かにきょう、あなたの前にいのちと幸い、死とわざわいを置く。あなたはいのちを選びなさい。」

悪と善。それは、私達がしなければならない選択なのです。ダニエル4章では、神は様々な時期に、悪人が支配することを許されるとありますそして、マタイ4:8で、サタンがイエスに提示したのは、このような王国でした。サタンは、彼が支配しているものしか提供できません。おもしろいです。私は娘たちについて、全ての側面から見てみました。最初は、みんなが白い衣を着ているのを想像していました。なぜそう思ったのかわかりませんが、聖書は、そんなことは書いていません。全て私の想像だったんです。そして私は考えました。あの娘たちは誰なんだろう？ 正直に言って、多くの聖書学者が理解していなかったと言わざるを得ません。神の御言葉を勉強するときは、神の御言葉を引用するんです。神の御言葉を勉強するときは、「でも、この人はこう言った。この人が言ったのは…」とは言わないで下さい。その人が、そう言ったのはいいですけど、でも、神の御言葉は何と言っていますか。時に、素晴らしい学者を引き合いに出すこともできますが、彼は、他の多くのことについては正しくても、これについては間違っているかも知れません。信じられないような話ですが、かなりの数の学者が、10人の娘はイスラエルのことだと考えています。そこで、私は思うのです。「聖書の中で、イスラエルが連れ去られて、一部が取り残されるのは、いつか？」どこにもありません！それどころか、彼らは主が来るのを見る時、彼を受け入れるのです。主が1000年間支配するために地上に来る時、その時、すべてのイスラエルが救われるのです。イスラエルは一部は残されて、部分的に取られるものではありません。違います！事実、申しましょう。現代の聖書預言の教えの父として知られるジョン・ウォルボードという先生を、私は大いに尊敬しています。しかし、彼のこの発言は間違っていると思います。「その箇所自体には、教会に関連する特徴的な用語が全く使われていない。例えば、花嫁、体、キリストの表現など。その代わりに、10人の娘たちは婚礼の祝宴に出席する花嫁付添人に過ぎない。」皆さんに言うおきます。覚えておかないといけない事、いいですか。旧約聖書では、神はイスラエルの夫として見られています。それはイザヤ書54章、イザヤ書62章、ホセア書2章に書かれています。そして新約聖書では、キリストは教会の花婿として見られています。そして、教会もまた、聖書の中でキリストの花嫁として描かれています。イザヤ書54章(4-5節)にはこうあります。「**恐れるな。あなたは恥を見な**

い。恥じるな。あなたははずかしめを受けないから。」それはイスラエルのことです。「あなたは自分の若かったころの恥を忘れ、やもめ時代のそしりを、もう思い出さない。あなたの夫はあなたを造った者…」なお、私は聖書から証明できます。主は、イスラエルにとって夫のような存在でした。イスラエルは、他のものを追いかけて、聖書が「離婚」と表現しているものが起こり、その後、再び一緒になる。それは、すべて聖書に裏打ちされています。しかし、それは、神とイスラエルの間にある「夫と妻」といった種の関係で、ちなみに、イザヤ書でも、イザヤ書62章では、「あなたはもう、『見捨てられている』と言われず」とあります。イスラエルと神とが再び一緒になることです。

「あなたの国はもう、『荒れ果てている』とは言われぬ。」かえって、あなたは『わたしの喜びは、彼女にある』と呼ばれ、あなたの国は、夫のある国と呼ばれよう。主の喜びがあなたにあり、あなたの国が（何？）夫を得るからである。若い男が若い女をめとるように、あなたの子らはあなたをめとり、花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ぶ。わたしは、あなたと永遠に契りを結ぶ。正義と公義と、恵みとあわれみをもって、契りを結ぶ。」（ホセア2:19）

そして、イエスがヨハネ3章で言っていることに注目してください。

「ヨハネは答えて言った。『人は、天から与えられるのでなければ、何も受けることはできません。あなたがたこそ、「私はキリストではなく、その前に遣わされた者である」と私が言ったことの証人です。花嫁を迎える者は花婿です。そこにいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。あの方は盛んになり、私は衰えなければなりません。』」

マタイ9:15

「イエスは彼らに言われた。『花婿につき添う友だちは、花婿がいっしょにいる間は、どうして悲しんだりできましょう。しかし、花婿が取り去られる時が来ます。そのときには断食します。』」

マルコ2章

「イエスは彼らに言われた。『花婿が、自分たちといっしょにいる間、花婿につき添う友だちが断食できるでしょうか。』花婿といっしょにいる時は、断食できないのです。しかし、花婿が彼らから取り去られる時が来ます。その日には断食します。』」

そして言うまでもなく、エペソ5章を見てください。

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は、自分を愛しているのです。だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。私達はキリストのからだの部分だからです。『それゆえ、人は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となる。』この奥義は偉大です。私は、キリストと教会とをさして言っているのです。」

結婚は、肉体で結ばれて初めて実現します。彼らが来るとき、私達は行きます。そして聖書によると、一度私達が上げられて雲の中で主と一緒にになったら、私達は二度と主から離れることはありません。二度と絶対に。主がどこへ行こうとも。主が地上に戻って来る時、私達は彼と一緒に戻って来ます。主が統治され

る時、私達は彼と共に統治します。主が裁かれる時、私達は彼と一緒に裁きます。そういう事です。私達は、ずっと主と一緒にいるのです。忘れないでください。私達は、イエスがいつ花嫁を迎えに来られるのかわかりません。でも、準備をしておくのが私達の仕事です。そして、私達は何をしようかと、恥ずかしくない生き方を求めているわけではありません。

何よりも、人はイエスを知らねばなりません。あのですね、私は苦悩しました。私が理解に苦しんだのは、事実、携挙だけが唯一予見された、全世界の救いのための神の預言上の計画の中で、これだけ、いつ起こるのか分からないのです。いいですか、イスラエルはダニエルから時刻表を受け取りました。ダニエルは、その70週の間は何が起こるのかを正確に彼らに告げました。彼らは正確に知っています。彼らは日数を数えて、西暦32年4月6日にイエスがエルサレムに入るのを、正確に知ることが出来たのです。彼らが耳を傾けてさえいたら。そして、69週×7×360を数えていたら。173,880日です。王が、ネヘミヤに神殿と町を建てることを許可した日から数え始めます。すると、ユダヤ人のためにイエスがエルサレムに入られる日が正確に分かるでしょう。だから、イスラエルはその未来を知っています。私達はまた、反キリストとヤコブの苦難が全部で7年になることも知っています。2つの章で1260日ずつだと分かっています。イスラエルは知っています！しかし、私達はその瞬間も日も時刻も知りません。分からないんです。そして、それには理由があります。ほら、イスラエルは知っていました。イエスが来た時、彼らに準備はできていましたか？ 知らないときは、いつでも準備しておく必要があります。非常に面白いことに、ヨハネ3章16節は告げています。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、（何ですか？）永遠のいのちを持つためである。」

それだけ知っていればいいんです。あなたは永遠のいのちを持っている。永遠の長さは、もはや存在しません。永遠なんです。ヨハネ14:6

「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。（一緒に言ってください。）わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』

「だれひとり」ともう一度言いましょうか？ **「わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」**ユダヤ人も異邦人も、だれひとり。イエスを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。ローマ10章

「もし、あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

口で言うことは出来ます。問題は、あなたが心で信じているかどうかです。この二つは切り離すことができません。教会に来て歌う事はできます。献金もできます。教会員になることもできます。でも、あなたの心が信じていないなら…では、どうすれば、あなたが信じていると分かるでしょう？ あなたが、ただイエスが戻ってくることを望んでいるなら、信じていると分かります。あなたが悪ではなく、ただ善だけを行いたいと願うなら、信じていると分かります。あなたが悪を憎んで、善を愛しているなら、信じていると分かります。あなたは、あなたの内にある聖霊の働きによって、何が神から出たもので何がそうでないかを識別する時、信じていると分かります。神の御言葉が、あなたの中で、また、あなたを通して働かれるのを見れば分かります。しかし、御言葉を読むこともなく、主との時間を過ごすこともなければ、一体どうして、その時になって、主に「わたしはあなたを知っている」と言ってもらえると期待できるでしょうか？

「兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたが、よく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えた、この福音の**ことば**をしっかりと保っていれば…」

いいですか、よく考えもしないで信じないように、しっかりと何を保つのですか？（福音の）ことばです。

「私が、あなたがたに、最もたいせつな**こと**として伝えたのは、私も受けた**こと**であって、次の**こと**です。キリストは、聖書の示すとおりに、私達の罪のために死なれた**こと**、また、葬られた**こと**、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられた**こと**…」

神のことばです。あなたは、聖書を開いていますか？ あなたは聖書をどのくらい読みますか？ あなたは、聖書をどれくらい信じていますか？ これが今朝、私が皆さんに投げかけている課題です。申し上げますが、皆さん、悪い時代です。皆さんは悪を目にしているかと思っているかも知れませんが、まだ何も見ていません。なぜか？ すぐに分かります。エペソ人への手紙2章には、こう書かれています。

「あなたがたは、自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の權威を持つ支配者として、今も不従順の子らの中に働いている靈に従って、歩んでいました。」

靈がいるんです。靈的な戦いがあるんです。「私は地獄に落ちるのを誇りに思う」という看板を掲げて歩いている人達について、皆さんは、本当に、それは靈的なものではないと思いますか？ 昨日、私が見た人は、悪魔崇拜的な格好をして、その手に持った看板には、「だれも膝をかがめることはない」と書かれていました。それは靈的なものです。「私達もみな、かつては不従順の子らの中にあつて、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人達と同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」私達は、キリストを知る前は、彼らと同じでした。

さて、あなたが教会を出て、日曜日の夜になり、月曜日の朝が来たら、あなたはどこにいますか？ あなたはまだ、昔のまま、昔いた所に留まっていますか？ それともあなたは考えを一新して、心と靈が新しくされた新しい人になっていますか？ 地球上で最も驚くべきものを持っている者として？ ダビデ王は、自分の罪が暴かれたとき…彼の罪は、まさに”罪”でした。罪を格付けできるわけではありませんが…ですが、皆さんは人妻と寝て、その夫を戦場に送り出して死なせたことがありますか？ ダビデは、そんな事をしたわけです。ダビデ王が。ダビデが罪を暴かれ、それを白状し、詩篇51篇を書いた時、彼は言います。

「あなたの聖靈を、私から取り去らないでください。」

私は聖靈なしでは生きていけません。あなたがいなくて生きていけない私が、どこに行っても、あなたはここにおられる。あなたは私と共にいる。私は、あなたから逃れられない。ダビデは、イエスととても素晴らしい関係を持っていました。聖靈と。主ご自身と。皆さんが理解せねばならないのは、ダビデにとって聖靈は…皆さん、グーグルマップをご存知ですね？ ウェイズをご存知ですか？ ウェイズを知っている人はどのくらいいますか？ W-A-Z-E、ウェイズ。言っておきますけど、イスラエルのアプリなんです。もしもし？ ちなみに、10億ドル以上でグーグルに買収されました。しかし知っていただきたいのは、文字通りに、神の靈はダビデの”ウェイズ”だったのです。あなたの道(ways)を、私に知らせてください、と彼は言いました。気にしないで。冗談です。しかし、彼は行く先々で神に尋ねました。「神よ、私は右に曲がるべきですか？ 左ですか？ 上に行くべきか、下に行くべきか？」サムエル記上13章から、ダビデの行動全体をずっと見ていくと、彼が生きていた、全く驚くべき靈的な人生を見ることができます。皆さんは、ダビデが試されたことはなく、誘惑はなかったと思われませんか？ ガラテヤ人への手紙5:22

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実…」

あなたは、どれを持っていて、どれを持っていませんか？ どれも持っていないクリスチャンがどれくらいいるか、ご存知ですか？ 正直に言って、私が知っているあるリーダーたちは、私が見ていると、彼らはいつも愛がなく、彼らには喜びがなく、平安がない。彼らは全く寛容でなく、いつも反応して、何かをしなければならない。彼らは親切ではありません。彼らは悪事を行い、周りの人にも誰にも誠実ではありません。私はそれを何度も何度も繰り返し見てきました。あなたがたが霊にあって歩んでいないことは明らかです。聖霊を宿してもないかもしれません。あなたは聖霊を宿しているかと思っているかも知れませんが、聖霊の実を持っていないなら、あなたは聖霊を宿していないのです。

では、見てください。ここでは、余分の油と油の不足があります。油を余分に持っているのは、どれだけ長くかかっても、主が戻って来るのを期待して、聖い生き方をしている新生した信者を表しています。「彼女たちは、準備ができていなかった。眠っていたのだから」と言う人も、いるかもしれません。もしもし？ あなたは眠りますか？ 主がすぐにも戻って来られるのを待っているからといって、眠ってはいけない、というわけではありません。しかし主が来られる時、私達には準備ができています。皆さんは昼間だけ聖霊を宿しているわけではありません。そして、あなたが眠り、夜、聖霊を宿していないところを主に見つかる？ 油が不足しているというのは、教会に属している人、物理的には教会に属しているがキリストとは無関係の人です。私は、ここで未信者の話をしているわけではありません。失礼、自分の事を「ノン・クリスチャン」だと思っている人達のことでありません。彼らの話ではありません。全員が乙女（娘）でした。全員がともしびを持っていました。全員が、それに光を灯していました。彼女たちは皆、彼が自分たちの主であると確信していました。彼女たちは皆、彼を「ご主人さま(主)」と呼びました。スポルジョンは言いました。

「誠実なクリスチャンは賢い娘であり、偽善者は愚かな娘である。別のたとえ話では、家を建てる賢い者と愚かな者によって表されている。外から見ると10人の娘はみんな同じに見え、みんな待っていて、みんなともしびを持っている。みんな『うとうとして眠り始めた』。違いが見られるのはともしびを使う必要ができた時だけ。」

スポルジョンは、愚かな娘たちと、偽善的なクリスチャンとの類似点を指摘してこう言います。

「彼女たちは、他の人達が持っているのと同じようなともしびがあれば、それで十分だと考えたかもしれない。おそらく彼女らは、目に見えないところで密かに油を貯めておく必要はないと判断したのだろう。彼女らは、片手にともしびを持つことは厭わなかったが、もう一方の手を、油瓶の世話にあてることまではやりたがらなかった。自称する者たちの、多くのともしびに致命的に欠けているのは、恵みの油である。多くの人は名ばかりで、その魂の内に、神のいのちを持っていない。彼らはキリストに繋がっている事を公言するが、それを維持するための恵みの御霊を内側に持っていない。きらびやかさや、ひらめきはあるが、恒久的な光はない。あるはずがない。彼らはともしびは持っているが、全く油を持っていないからだ。」

勘違いしないでください。これは、ユダヤ人についてのたとえ話ではないと私が思う、もう一つの理由は、私のようなユダヤ人信者は異邦人教会と一緒に携挙されます。皆さんは、携挙が起こったら私が取り残されると思いますか？ 私には、そのつもりはありません。そう願わないで下さいよ。大患難と反キリストが原因となって、イスラエルの三分の一は獣のしるしを受け入れず、神は、彼らを荒野でかくまわれます。ヨハネの黙示録12章にある通りです。3年半、大患難の後半、1260日。しかし、残りの者は獣のしるしを受け入れます。また、彼らは彼の事を「主よ、主よ」とは呼びません。これは、イスラエルについてのたとえではありません。第二コリント11:2

「というのも、私は神の熱心をもって、熱心にあなたがたのことを思っているからです。私はあなたがたを、清純な処女として、ひとりの人の花嫁に定め、キリストにささげることにしたからです。」

それが教会です。

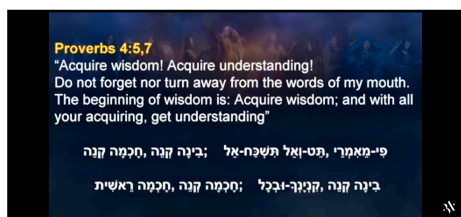
さて、賢さ(知恵)vs愚かさですが、ある人達はIQが高く、ある人達はIQが低かったというわけではありません。IQの問題ではありません。知恵とは神格としての聖霊のことです。間違えないでください。神は別として、知恵は唯一、創造物語の中に現れ、また、そこにあったことを証言できるものです。なぜなら、それは神格としての聖霊だからです。箴言8章に何とあるか見てみましょう。

「知恵は呼ばわらないだろうか。英知はその声をあげないだろうか。これは丘の頂、道のかたわら、通り道の四つかどに立ち、門のかたわら、町の入口、正門の入口で大声で呼ばわって言う。『人々よ。わたしはあなたがたに呼ばわり、人の子らに声をかける。』(8:1-4)(22節)

「主は、その働きを始める前から、そのみわざの初めから、わたしを得ておられた。大昔から、初めから、大地の始まりから、わたしは立てられた。深淵もまだなく、水のみなざる源もなかったとき、わたしはすでに生まれていて。山が立てられる前に、丘より先に、わたしはすでに生まれていて。神がまだ地も野原も、この世の最初のちりも造られなかったときに。神が天を堅く立て、深淵の面に円を描かれたとき、わたしはそこにいた。神が上のほうに大空を固め、深淵の源を堅く定め、海にその境界を置き、水がその境を越えないようにし、地の基を定められたとき、わたしは神のかたわらで、これを組み立てる者であった。わたしは毎日喜び、いつも御前で楽しみ、神の地、この世界で楽しみ、人の子らを喜んだ。」

驚異的です！それは知恵です。聖霊という神格。賢くなるというのは、フロリダ州立大学で15個の学位を獲ることはありません。それは聖霊を持つことです。教育は受けるべきですよ？ そうするなど言っているではありません。でも、本当の知恵が何かをご存知ですね？ 箴言4章5,7節には、こうあります。

「知恵を得よ。悟りを得よ。忘れてはならない。私の口の授けたことばかりからそれではならない。知恵の初めに、知恵を得よ。あなたのすべての財産をかけて、悟りを得よ。」



ヘブライ語で表示してみました。見えるでしょうか…なぜか、分かりますか？ ヘブライ語の「得る」という言葉は、「購入」なのです。一体どのようにして私達は聖霊を持つことができたのでしょうか？ 誰が、私達に聖霊を送ってくださったのでしょうか？ イエスです。イエスが私達の贖いのために全額を支払われた後。それは購入されたのです。皆さんは理解せねばなりません。知恵という概念は、聖書の至る所に見られ、知恵は地上のどんなものよりも望ましく、重要です。(列王記上3:10-14) 神は、知恵を求める者に知恵を約束しておられます。(ヤコブ1:5) 高慢によって、知恵が墮落し得るのです。(エゼキエル28:14-18)ところで、高慢によって知恵が墮落したのは誰でしたか？ まぎれもなくサタンです。サタン自身です。仰る通りですね。ヤコブによると、知恵には二種類あります。人間的なものと、霊的なものです。ヤコブ3:13-17

「あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔和な行いを、良い生き方によって示しなさい。しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。ねたみや敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。しかし、上からの知恵は…」

覚えていますか？ 聖霊は、彼らが上の部屋にいた時に来ました。それは、上から来たのです。

「しかし、上からの知恵は第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。」

あなたのともしびの油。光を輝かせるために、持っていなければなりません。マタイは言いました。(マタイ5:14-16)

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は、隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ…」

そして、本当にあなたの中に聖霊が宿っていれば、あなたは自己推薦を求めません。あなたは自分の栄光を求めてはいません。あなたは人々に崇拜され、愛されるために本を書いたり、自分がもっと愛されるために説教をしたり、投稿したりする事はありません。見てください。「人々が、あなたがたの良い行いを見て、…」どうなりますか？ 誰を崇めますか？ **「天におられる、あなたがたの父をあがめるようにしなさい。」**あなたが霊的な人間であれば、そうなるのです。霊的な知恵が、あなたの中にあると、そうなるのです。ところで、この油は本当に買えるのでしょうか？ そのたとえ話では、「店に行って買いなさい」と？ ヨブ記12章

「老いた者に知恵があり、年のたけた者に英知があるのか。知恵と力とは神とともにあり、思慮と英知も神のものだ。見よ。神が打ちこわすと、それは二度と建て直せない。」

いいですか、基本的にヨブが言っているのは、それは、あなたが自分で行って買えるものではなく、それは、神があなたのために買って下さったものです。ですから、お店には行けません。そこには有りません。もし、あなたが買いに行けばいいと、そういう考え方をしているなら、あなたは、まだ準備ができていないことが、もうすでに私には分かります。彼女たちは「ご主人様、ご主人様(主よ、主よ)」と言い、すると主は言われました。「私は、あなたがたを知りません。」何という悲劇。一生の間、ずっと教会に通っているながら、主は彼らを知らないとは。主がそう言われたのです。マタイ7:21-23

「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。」

いいですか、イエスは「その日には、わたしに言う人はほとんどいない」とは言いませんでした。彼は、何と言っていますか？ 「大ぜいの者が」大ぜいの者**「その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私達はあなたの名によって預言をし…』**皆さんは、正統派ユダヤ教徒がイエスの名で預言しているのを見かけますか？ いいえ。でも、私は何人ものテレビ伝道師がそうするのを見かけます。

「『私達はあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」

不法をなすとは、どういう事でしょう？ それは、神の法と正反対の事をすることです。それが不法です。彼らは外見は聖く見えるかもしれませんが。今ここに、どんな人が座っているのか、私には全く分かりません。皆さんが、どのように主と歩んでいるのか。教会に来られたという事実は良い事です。でも、私には全く分かりません。そして今朝、あなたは知っています。あなただけが知っています。それと、神が。もし、あなたが本当に…私は、皆さんを混乱させるために来たものではありません。違いますよ。今は終わりの

終わりに差し掛かっていると、私は信じています。今は最後の日々ではありません。これは最終時刻です。私達は、最終日の最終時刻の最後の数分に突入しました。花婿が、今にも来ようとしています。そして、私達には出席すべき婚礼の祝宴があるのです。花婿が来て、連れ去って下さいます。覚えておいてください。マタイの福音書24章

「ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようだからです。洪水前の日々は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついたりしていました。…彼らはわからなかったのです。」

皆さんは、用意ができています。世は知りませんが、皆さんは、用意が出来ているべきです。皆さんに伝えたいことがあります。

「だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。しかし、このことは知っておきなさい。」

皆さんが、知っておくべき事があります。「家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら…」イエスは、「夜の盗人」のようにと仰っています。あなたが出て行かないようにしている「家の主人」とは、誰のことですか？ 誰？ 誰？ 家の主人は誰ですか？ マタイ4章

「悪魔はイエスを高い山に連れて行き、これらすべてのことを彼に見せた。」

覚えてますか？ ルカ4章

「悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、」

ヨハネ8章

「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって」イエスの言葉を見てください。「**彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」**

ヨハネ12章

「今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。」

家の主人とは誰ですか？ そして、彼は、その日を知らないはずで、だから、私達が居なくなると、彼は驚くのです。皆さんには用意ができていて、彼は驚くのです。ヨハネ14章

「わたしは、もう、あなたがたに多くは話すまい。この世を支配する者が、来るからです。彼は、わたしに対して、何もすることはできません。」

あとはご自分で読んでください。

最後に、お伝えします。もしあなたが新生し、御霊に満たされた信者で、イエスが戻って来られるのを熱心に待ち望んでいるならば、あなたは花婿が来るのを見逃すことはありません。そして、皆さんに忘れないでほしいのは、

「キリストは多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられました。二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の、救いのために来られる」(ヘブル9:28)

ローマ人への手紙8章20-23節の私達の体の贖い^{あがな}です。では、私は次のことをもって締めくくります。テトスへの手紙第2章です。それがあなたなら、あなたはよくやっています。それがあなたでないなら、あなたは救われる必要があります。テトス2:11-14

「というのは、すべての人を救う神の恵みが現れ、私達に、不敬虔とこの世の欲とを捨て、この時代にあつて、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、祝福された望み、すなわち、大いなる神であり私達の救い主であるキリスト・イエスの栄光ある現れを待ち望むようにと教えさとしたからです。キリストが私達のためにご自身をささげられたのは、私達をすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心なご自分の民を、ご自分のためにきよめるためでした。」

お父様、あなたが私達を贖ってくださったことを感謝します。お父様、あなたが私達に無償の救いの賜物と、私達を導いて下さる素晴らしい聖霊を与えてくださったことを感謝します。私達が必要とする知恵を。お父様、今、自分のともしびに少し明かりがあるからといって、自分が信者だと思っている人がいたら…でも、彼には、それを維持するための油がありません。彼には聖霊が宿っていませんから。彼は、一度も、上から御霊によって生まれることがどういうものかを、本当の意味で、真に体験したことがありません。

お父様、今日が救いの日となりますようにお祈りします。世界中、私達の周りで、あらゆる事が私達に告げています。「いよいよだ。ゴールまであと少しだ。」あとは、私達が準備をするだけです。私達に準備はできていますか？

お父様、あなたに感謝します。あなたの御言葉は私達への警告のしるしであり、あなたが、ご到着を遅らせておられるのは、今朝、このメッセージを聞いた人で、まだ新生して御霊に満たされていない人が、今日ひざまずいて罪の赦しを求め、今後は聖霊に自分の人生の舵取りをゆだねるようになるためかも知れません。あなたがご自分の民の中で、また、あなたの民を通してなさろうとしていることに感謝します。あなたの御名をほめたたえ、これを比類なき、最も美しい御名において祈ります。イスラエルの聖なるお方、平和の君、主の主、ユダ族の獅子、神の小羊、インマヌエル、イスラエルと世界のために死なれたお方、イスラエルと世界の唯一の希望であるお方、「いのちの書」に名前を記される為の唯一の道。主の御名、イエシュア、イエスの御名によって、私達は祈ります。

神の民は皆、声をそろえて、アーメン。



☞ スマートフォンなどのカメラで読み込むと、YouTubeのメッセージが見れます。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2021.01.04 (Mon)